

# 根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2012/9/11 実施)～

2012/10/1 編集:相澤

参加者:相澤、市川、西澤、高橋、三井、山口(熙)、山田(幸)、山田(洋)

## ◇気候・風景・印象

今月は古参の山口(熙)さん、山田(幸)さんに声をかけて参加していただき、にぎやかな観察会となりました。残暑厳しくなかなか大変でしたが、草刈を頻繁にしている中ヨシ原をやぶこぎして、他のゾーンにはあまりないヌマガヤツリをたくさん発見したりし、草刈によって違った植物が生えることを自分の目で確認することができたのが、私としては嬉しかったです。



中ヨシ原を探索

9月なかばに入ったのに、暑さは真夏なみ。日陰に入るとなんとなく感じる秋風が心地よかった。今日も観察会に来て良かったと思う。頭の上ではセミがしきりに鳴いて、オニヤンマ、ノシメトンボ、赤トンボが目の前を行きかっていた。



アキアカネ

そろそろ南に渡っていくサシバでも運良く見ることができると、空を何度か見上げたが、カラスの飛翔姿しか見ることができなかった。聴こえた声は、シジュウカラ・遠くにキジバトくらい。日なたと日陰の温度差を、しっかりと体感できた暑い日差しの中での観察だったので、鳥の気配が少ないのはしかたないことなのだろう。しかし同じように空をとぶ生きものとして、ウスバキトンボ・ギンヤンマ・オニヤンマ・ノシメトンボ・ナツアカネかアキアカネなどのトンボをたくさん観察でき、楽しい観察会だった。

今月の観察会も、汗の吹き出るような残暑のもととなりましたが、時折吹き抜ける風には、秋の気配が確かにありました。公園の様子も先月とは違って、トンボ達が盛んに飛び交っていました。中でも、青空をバックに悠然と飛ぶオニヤンマには見とれてしまいます。シオカラトンボの産卵も見られました。植物達も、アシに穂が出てたり、オギにも少しですが穂を出しているのがあったりと、自然はちゃんと季節の移ろいを進めているんですね



シオカラトンボ



暑いと言っても風は秋です。足下のたくさんの植物たちも秋の装い。どうしても「ねこじゃらし」といってしまうエノコログサ、きょうは日差しをあびて輝くキンエノコロの一群に目がとまりました。まとまってあると名前に金がつく意味が良くわかります。カラスウリもフジノキにからみつきたくさんの実をつけています。今から赤くなるのが楽しみです。冬、花のない時に赤い実がある景色もすてきですね、それぞれの変化を観ながら大好きな秋を楽しみたいです。

←キンエノコロの花

残暑は相変わらず厳しい中での観察会でした。それでも生物は、もう秋を感じています。トンボをはじめ虫たちをたくさん見ることができました。オニヤンマ、ギンヤンマ今日は両方ともお目見えです。オオカマキリ、アゲハなどの蝶類、そしてジョロウグモやナガコガネグモなど。暑さの日中のせいか鳥類は姿をみかけませんでした。

オオカマキリ? →  
チョウセンカマキリの可能性もアリ



## ◇生きもの



### ヌマガヤツリ

マツカサススキとともに、この公園に見られる大型のカヤツリグサ科の植物です。先月は気が付かなかったけれど、今月は、花穂が既に出始めの緑色から褐色に変わってて、目立ちました。松戸市内では他に見られる所があまりないそうで、地味だけど、これもこの公園の大事な植物です。

### ソクズ

一枝に小さな白い花を沢山つけるのに、実は赤オレンジ色の小さな美しい丸い実をつけていた。

実は総て鳥が食べてしまうのでしょうか？ひと房にひとつずつ、といった感じで赤い実が残っているのが印象的です。黄色い蜜腺はしおれてしまっていました。



### チョウジタデ



タデと付いてますが、タデ科の仲間ではなくアカバナ科に分類されてます。結構丈高く伸びて黄色い小さな花を咲かせてましたが、他の草の間にあるとまず目立ちません。これに対し、同じ仲間のヒレタゴボウが、直径2～3cmの黄色い4弁のよく目立つ花を咲かせてました。きれいなんですけど、こちらは熱帯アメリカ原産の帰化植物で、繁殖力も旺盛です。ヒレタゴボウは増えすぎないように、チョウジタデは増えてくれるように、気を付けています。

春に草刈した場所、アカガエルの赤ちゃんがピョンピョンとびはねていた所は今、腰の高さくらいのヨシとかオギがしげっています。

その中でめだつ花はヒレタゴボウ、これは見た目にはきれいなんだけど、繁殖力が旺盛で、根っこなんか見るとげんなりします。そのヒレタゴボウのおかげで、チョウジタデがいくつみられました。地味で控えめな花ですがやさしい雰囲気がいいですね。



### シロバナサクラタデ

花が咲き始めました。昨年あたりから、随分株数が増えてます。ボントクタデも花穂を出し始めたのがありました。この二種ともにタデ科の中では花が大きい方とはいえ、せいぜい3～4mmといったところ。でも、しっかりと開いた花を虫眼鏡で見ると、とてもきれいです。毎年楽しみにしています。

たくさん咲いていました。風にゆれています。秋ですね。

### ツルマメ

北の池周辺、ツルマメが群生し紫の花が沢山咲いていました。

秋ですねえ、といわんばかりにあちこちにツルをのぼして紫の小花を咲かせていました。カントウヨメナとコラボしており、暑い陽射しの下、さわやかな気分になりました。



### ハシカグサ

めだたない、白い小さな花。花の基は筒状で、先は4枚にわかれている。よく見るとかわいらしい。

田んぼの横のあぜ道あたり、本当に目立たずにひっそりと咲いています。こんな小さな花でも、小さな昆虫が見つけて蜜や花粉を運ぶのでしょうか。

\*この観察日記は参加者からいただいた感想を基に作成しております。

次回の根木内歴史公園の湿地の観察会は **10月13日(土)**に行います(小雨決行)。いつもの第2火曜ではないのでご注意ください。9:30に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内で昼食を食べます。ヌカキビ、アキノノゲシなど、秋の花や実が見られるでしょうか？

お問い合わせ(千葉大・相澤)

E-mail: [akihitoaizawa@gmail.com](mailto:akihitoaizawa@gmail.com)